

美祿市合併1周年記念

NHK山口放送局テレビ放送開始50周年記念

歌の散歩道

NHKラジオ公開録音

～3名のゲスト歌手による歌とおしゃべりのワンマン歌謡ライブ～

平成21年
6月19日(金)

開場：午後5時
開演：午後5時45分
終演予定：午後7時45分
会場：美祿市民会館

<放送予定>

平成21年6月29日(月)
6月30日(火)
7月1日(水)
午後2時5分～午後2時35分
NHKラジオ第1放送・国際放送
(全国放送)

ゲスト
(放送順)



石原詢子



山本譲二



大川栄策

○入場申込方法

入場料無料、入場整理券(1枚につき2名様入場可)が必要です。必ず、往復ハガキで、下記の要領でお申し込みください。

※応募者多数の場合は抽選のうえ、入場整理券をお送りします。

※1歳以上のお子様から整理券が必要です。

申込締切
平成21年
6月3日(水)必着

(往信・おもて面)		(返信・うら面)		(返信・おもて面)		(往信・うら面)	
50	7 5 9 2 2 9 2			50			
往 信	美祿市企画政策課 「歌の散歩道」係	美祿市大嶺町東分326の1	何も記入しないでください	返 信	お 名 前	お と ころ	①おところ
					様		②お名前
							③電話番号

ご応募の際にいただいた情報は、抽選結果のご連絡に使用させていただきます。なお、NHKでは、受信料のお願いに使用させていただくことがあります。

主催・問い合わせ先
美祿市企画政策課
NHK山口放送局

「歌の散歩道」係 ☎0837-52-1112 (平日/8時30分～17時15分)
「歌の散歩道」係 ☎083-921-3733 (平日/9時～18時)

病院だより 11

健康チエック 大腸がんについて

美祢市立病院

外科部長

田中 昭吉



日本人の死因の第1位はがんであり、2005年のがん死亡者数は約32万人で死亡総数に占める割合は30.1%でした。また、年間のがん新患者数は約66万人と推測され、2020年には85万人になると予想されています。増加が著しいのは大腸がん、肺がん、男性の前立腺がん、女性の乳がんです。今回は増加傾向のがんの中でも特に増加の著しい大腸がんについて説明します。

大腸がんとは

大腸は消化吸収された食物

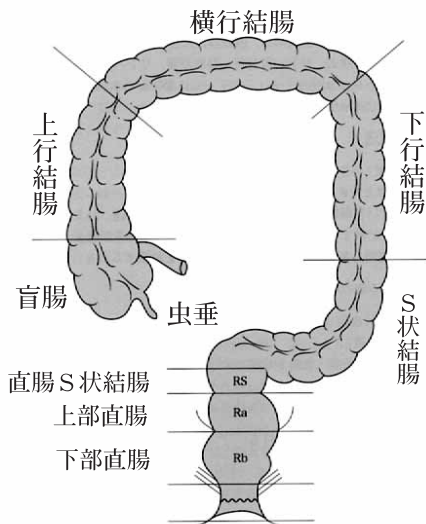


図 大腸の区分
(大腸がん取扱い規約 金原出版(株)より引用)

の最終処理を行う消化管で、主に水分を吸収して大便にするところです。約2mの長さがあり、盲腸、上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸と直腸肛門からなります。(図)大腸粘膜のあるところではどこからでもがんができますが、日本人の大腸がん発生日位は直腸37.9%、S状結腸34.3%、上行結腸10.4%、横行結腸7.0%、盲腸5.9%、下行結腸4.5%となっており、70%以上が直腸とS状結腸に集中しています。大腸がんは全国統計の死亡原因では男女

合わせた胃がん、肺がん、肝がんに次いで4位です。一方、罹患率では胃がんに次いで2位であり、このことは他のがんに比べ治療しやすいがんであることを示しています。年齢では50〜75歳が多く、発生頻度は高齢者ほど高くなります。大腸がんの発生には遺伝的因子より環境的因子の比重が大きいと考えられており、食生活が肉食中心の欧米型になったことが大腸がんの増加の原因と言われています。

症状

大腸がんの症状として多く認められるのは、血便、便が細くなる(便柱細少)、残便感、腹痛、腹部膨満、下痢と便秘の繰り返しなど排便に関する症状と貧血です。中でも血便の頻度が高く、これはがんの中心が潰瘍となり出血がおきるためです。痔と勘違いして受診が遅れることもありますので注意してください。

がんによる血便では肛

門痛がなく、暗赤色の血液が便に混じったり、ときに黒い血塊が出るなどの特徴があります。早期のがんでは症状はまずありませんので、早期発見のためには検診を受けることが大切です。

検査

市の検診で行われている便潜血反応検査は、健康な集団の中から大腸がんの精密検査が必要な人を拾いあげる検査法です。これは体に負担の少ない最も有効な検査ですので40歳を過ぎたらこの検診を受けることをお勧めします。検診で要精査となったり、症状があつて受診された方には大腸がんの精密検査として注腸造影検査、大腸内視鏡検査、CT、MRI、PET、腫瘍マーカーなどが総合的に判断されて行われます。

治療

大腸がんの治療は切除が第一選択となります。早い時期に発見すれば、内視鏡的切除や手術により完全に治すことができます。進行がんで肝臓や肺へ転移していても切除可能な時期であれば、手術により治るチャンスが生まれます。

これが比較的予後のよい疾患とされている理由です。しかし、当然ながら発見が遅れば、肺、肝臓、リンパ節や腹膜などに切除困難な転移がおり、放射線療法や抗がん剤治療が行われます。

手術後は手術所見に基づきステージ分類や種々の因子を総合的に判断して、個人ごとに今後の治療方針が決められます。そのため同じステージでも追加治療を必要としない人がいれば、抗癌剤治療が必要と判断される人もいます。手術で完全に切除されたと判断された方でも細胞レベルでの遺残の有無を確認するため術後は定期的に(4〜12月の間隔)再発チエックのための検査を受ける必要があります。肝臓、肺、腹膜が転移しやすい臓器であり、また、切除した部位に局所再発がおこることもあります。大腸がんは他のがんとは異なり、早い時期に再発が見つかれば、再発薬の切除により完治も期待できます。再発の8割以上は術後3年以内に発見されます。手術後、5年以上再発しないことが完治の目安です。

問合せ先 美祢市立病院

(☎ 0837 1700)